

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-298859(P2003-298859A)
 【公開日】平成15年10月17日(2003.10.17)
 【出願番号】特願2002-95663(P2002-95663)
 【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 1/48
 G 0 3 G 15/01
 G 0 3 G 21/00
 G 0 6 T 1/00
 H 0 4 N 1/04
 H 0 4 N 1/60

【F I】

H 0 4 N	1/46	A
G 0 3 G	15/01	R
G 0 3 G	21/00	3 7 8
G 0 6 T	1/00	4 1 0
G 0 6 T	1/00	4 5 0 A
G 0 6 T	1/00	5 1 0
H 0 4 N	1/40	D
H 0 4 N	1/04	D
H 0 4 N	1/12	Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月28日(2004.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿を読み取ることにより得られた画像データに基づいて前記原稿が無彩原稿か有彩原稿かを判別する判別手段を備え、

前記判別手段の判別結果に基づいて後段の処理を変更する画像処理装置において、

前記読み取られた画像データの副走査位置を管理する管理手段と、

前記管理手段によって管理される副走査位置が、所定の領域に含まれるときに前記判別手段の判別動作の判別条件を切り替える制御手段とを備えていることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記制御手段による前記判別動作の判別条件の切り替えは、前記管理手段によって管理される副走査位置が、所定の領域に含まれるとき無彩原稿と判定しやすい判別条件に設定することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記判別手段の判別動作の判別条件を切り替える副走査方向の領域及び前記領域の個数をそれぞれ任意に設定する設定手段を有することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記設定手段は、画像読み取り時の線速に応じて設定することを特徴とする請求項3記載の画像処理装置。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれか1項に記載の画像処理装置と、

前記画像処理装置によって画像処理された画像データに基づいて記録媒体に可視画像を形成する画像形成手段と、

を備えてなる画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、第1の手段は、原稿を読み取ることにより得られた画像データに基づいて前記原稿が無彩原稿か有彩原稿かを判別する判別手段を備え、前記判別手段の判別結果に基づいて後段の処理を変更する画像処理装置において、前記読み取られた画像データの副走査位置を管理する管理手段と、前記管理手段によって管理される副走査位置が、所定の領域に含まれるときに前記判別手段の判別動作の判別条件を切り替える制御手段とを備えていることを特徴とする

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

第2の手段は、第1の手段において、前記制御手段による前記判別動作の判別条件の切り替えは、前記管理手段によって管理される副走査位置が、所定の領域に含まれるとき無彩原稿と判定しやすい判別条件に設定することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

第3の手段は、第1の手段において、前記制御手段が、前記判別手段の判別動作の判別条件を切り替える副走査方向の領域及び前記領域の個数をそれぞれ任意に設定する設定手段を有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第4の手段は、第3の手段において、前記設定手段が、画像読み取り時の線速に応じて設定することを特徴とする

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

第5の手段は、第1ないし第4のいずれかの手段に係る画像処理装置と、前記画像処理装置によって画像処理された画像データに基づいて記録媒体に可視画像を形成する画像形成手段とかた画像形成装置を構成したことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、副走査方向の位置に応じて前記判別手段の判別動作の判別条件を切り替えることができるので、ジター発生部分領域において、無彩判定しやすい閾値に切り替え、ACS誤判定を防ぐことができる。